

# 副産物情勢

12月7日

更新

JA全農ミートフーズ株式会社

項目	内 容	備 考																								
内 臓	<p>1.国産牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年10月の成牛と畜頭数は、90.4千頭(前年同月比96.4%)と前年をわずかに下回った。内訳を見ると、交雑牛は20.0千頭(同101.6%)と前年をわずかに上回ったが、和牛40.6千頭(前年同月比94.0%)・乳牛去勢12.8千頭(同 94.5%)と前年を下回った。</li> <li>○ 令和3年11月の成牛と畜頭数は、速報値(11/30まで集計)で98.3千頭(前年比93.5%)で、前年をかなり下回った。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構が11月25日に公表した牛肉の需給予測によると、12月の出荷頭数は和牛・交雑牛の出荷頭数の増加により、前年をやや上回るとともに、3か月平均(10～12月)では、和牛・交雑牛の出荷頭数の増加で、出荷頭数(前年同期比100.4%)・生産量(同100.5%)ともに前年同期をわずかに上回ると見込んでいる。</li> <li>○ 需要動向は、外食業態の回復、輸入原料の高騰、気温低下に伴う鍋需要の拡大から、全品目的に堅調な荷動きであり、特にタン、小腸、シマ腸は値上がり傾向である。需要が強い品目はホルス玉や経産玉まで引き合いが伸びており、改めて外食業態中心の品目であることが分かる。</li> <li>○ 年末に向けてと畜頭数が拡大していくことで需要と供給がバランスしない場面もあるだろうが、外食業態の活況を期待する。</li> </ul>	<p>1.東京市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年4月20日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月26日</td> <td>25/枝kg</td> <td>5/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月18日</td> <td>35/枝kg</td> <td>7/枝kg</td> </tr> </tbody> </table> <p>※乳牛も同様35円/kg ※豚正貫物</p>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和2年4月20日	25/枝kg	5/枝kg	令和2年7月1日	35/枝kg	7/枝kg	令和3年1月25日	25/枝kg	5/枝kg	令和3年4月1日	35/枝kg	7/枝kg	令和3年4月26日	25/枝kg	5/枝kg	令和3年10月18日	35/枝kg	7/枝kg			
	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																							
	令和2年4月20日	25/枝kg	5/枝kg																							
令和2年7月1日	35/枝kg	7/枝kg																								
令和3年1月25日	25/枝kg	5/枝kg																								
令和3年4月1日	35/枝kg	7/枝kg																								
令和3年4月26日	25/枝kg	5/枝kg																								
令和3年10月18日	35/枝kg	7/枝kg																								
<p>2.国産豚</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年10月度の全国の肉豚出荷頭数は1,417千頭(前年比95.7%)となった。10月の全国地域別出荷頭数を前年同月比で見ると、北海道100.0%、東北99.1%、関東90.9%、北陸甲信越93.6%、東海102.7%、近畿104.9%、中四国96.6%、九州・沖縄95.7%となった。</li> <li>○ 令和3年11月の全国と畜頭数は速報値で1,400千頭(11/30まで集計)で、前年同月比96.4%となっている。稼働日数は昨年より1日多く、1日当たりの平均と畜頭数は70,020頭(前年実績:76,446頭/日、前年比△6,426頭/日)となっている。</li> <li>○ 農水省食肉鶏卵課の令和3年11月26日付肉豚生産出荷予測によると、今後の出荷予測頭数は令和3年12月1,496千頭(前年同月比98%)、翌年1月1,401千頭(同99%)、2月1,326千頭(同99%)、3月1,421千頭(同94%)、4月1,383千頭(同95%)で今後5か月間合計頭数は前年比97.0%と前年をわずかに下回ると見込んでいる。</li> <li>○ 需要動向は、食材全般の高騰や加工需要の拡大で全品目的に堅調な荷動きであり、特にタン、小腸、カシラ肉は値上がり傾向である。また、外食業態が回復することでウコン系飲料(=肝臓抽出物サプリメント)の動きも出てくると想定されるため、原料となるレバーの引き合いが強くなることを期待する。</li> <li>○ 流通価格は一部部位を除いて、”安価”のため使用しているメーカーが多いと想定されることから一定水準の価格帯で推移している。</li> </ul>	<p>2.大阪市場内臓価格 単位:円/枝肉kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛内臓</th> <th>豚内臓</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年4月20日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月1日</td> <td>35/枝kg</td> <td>4/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年1月25日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年3月11日</td> <td>35/枝kg</td> <td>4/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月19日</td> <td>25/枝kg</td> <td>3/枝kg</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月15日</td> <td>35/枝kg</td> <td>4/枝kg</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛内臓	豚内臓	令和2年4月20日	25/枝kg	3/枝kg	令和2年7月1日	35/枝kg	4/枝kg	令和3年1月25日	25/枝kg	3/枝kg	令和3年3月11日	35/枝kg	4/枝kg	令和3年4月19日	25/枝kg	3/枝kg	令和3年10月15日	35/枝kg	4/枝kg				
価格改定年月日	牛内臓	豚内臓																								
令和2年4月20日	25/枝kg	3/枝kg																								
令和2年7月1日	35/枝kg	4/枝kg																								
令和3年1月25日	25/枝kg	3/枝kg																								
令和3年3月11日	35/枝kg	4/枝kg																								
令和3年4月19日	25/枝kg	3/枝kg																								
令和3年10月15日	35/枝kg	4/枝kg																								
<p>3.輸入牛</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年10月の輸入通関実績によると牛肉輸入量は全体で55.2千t(前年比108.3%、前月比109.1%)と前年をかなりの程度上回った。内訳は現地価格の高騰によりチルドは20.5千トン(前年比96.0%、前月比84.1%)と前年をわずかに下回り、コロナ禍で前年に大きく数量を減らしたフローズンは34.7千t(前年比117.3%、前月比132.5%)と前年を上回った。</li> <li>○ (独)農畜産業振興機構が11月25日に公表した牛肉の需給予測によると、11月の輸入量は、豪州および米国における現地価格の高止まり等の影響で、チルド・フローズンともに、前年を下回ると予測している。12月の輸入量について、チルドは前月に続き現地価格の高止まりの影響でかなり大きく前年を下回り、フローズンは現地価格の高止まりが続く豪州産は減少が見込まれるものの、他の生産国での代替で前年をかなり上回る輸入量となるものと予測している。</li> <li>○ 令和3年10月の冷凍輸入牛レバーは92.9t(前年比116.2%・前月比74.7%)で、国別では米国46.8t、豪州43.9t、墨国2.1tであった。冷凍輸入牛腸は1,161.8t(前年比109.2%・前月比86.1%)で、国別では米国624.6t、豪州267.4t、墨国156.3t、加奈陀113.3tとなった。</li> </ul>	<p>3.東京市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和牛)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成31年1月5日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年7月22日</td> <td>700/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>500/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月15日</td> <td>100/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月20日</td> <td>100/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和3年5月24日</td> <td>10/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮	平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚	令和元年7月22日	700/枚	10/枚	令和2年3月16日	500/枚	10/枚	令和2年6月15日	100/枚	10/枚	令和2年7月20日	100/枚	2/枚	令和2年9月28日	10/枚	2/枚	令和3年5月24日	10/枚	10/枚	
価格改定年月日	牛原皮(和牛)	豚原皮																								
平成31年1月5日	1,000/枚	30/枚																								
令和元年7月22日	700/枚	10/枚																								
令和2年3月16日	500/枚	10/枚																								
令和2年6月15日	100/枚	10/枚																								
令和2年7月20日	100/枚	2/枚																								
令和2年9月28日	10/枚	2/枚																								
令和3年5月24日	10/枚	10/枚																								
原 皮	<p>1.牛原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年10月の輸出実績は、40,415枚(前年比77.2%、前月比93.3%)で、前年・前月を下回った。輸出平均価格は3,021円/枚(前年+1,981円、前月-118円)となった。国別実績は、タイ19,260枚(前年比68.1%)、ベトナム14,310枚(同87.7%)、韓国5,335枚(同179.3%)、香港600枚(同33.3%)、中国910枚(同実績なし)、カンボジアは実績なしであった。</li> <li>○ 一方、ウェットブルーの輸入は、12.0千枚(前年比87.2%、前月比45.3%)、牛大判皮は30.2千枚(前年比173.0%、前月比75.6%)となった。</li> <li>○ 海外情勢は大量消費するカーシート仕向けが半導体不足の自動車減産によって低迷しており、昨年底値時ではないもののタンナーとの取引価格が下落している。</li> <li>○ 国内情勢は依然として革製品需要が限定的のため、ホルヌキ原皮以外は品質差で優劣が付きやすい状況である。(=キズが多いと売れない)</li> </ul>	<p>4.大阪市場原皮価格 *交雑牛含む 単位:円/枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛原皮(和又キ)</th> <th>豚原皮</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和元年7月16日</td> <td>1,000/枚</td> <td>30/枚</td> </tr> <tr> <td>令和元年8月15日</td> <td>1,000/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年3月16日</td> <td>800/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年6月22日</td> <td>300/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年7月27日</td> <td>300/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和2年9月28日</td> <td>10/枚</td> <td>2/枚</td> </tr> <tr> <td>令和3年6月1日</td> <td>10/枚</td> <td>10/枚</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛原皮(和又キ)	豚原皮	令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚	令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚	令和2年3月16日	800/枚	10/枚	令和2年6月22日	300/枚	10/枚	令和2年7月27日	300/枚	2/枚	令和2年9月28日	10/枚	2/枚	令和3年6月1日	10/枚	10/枚
	価格改定年月日	牛原皮(和又キ)	豚原皮																							
令和元年7月16日	1,000/枚	30/枚																								
令和元年8月15日	1,000/枚	10/枚																								
令和2年3月16日	800/枚	10/枚																								
令和2年6月22日	300/枚	10/枚																								
令和2年7月27日	300/枚	2/枚																								
令和2年9月28日	10/枚	2/枚																								
令和3年6月1日	10/枚	10/枚																								
<p>2.豚原皮</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和3年10月の輸出実績は、1,187,232枚(前年比106.1%、前月比104.8%)で、前年・前月を上回った。輸出平均価格は623円/枚(前年+265円、前月±0円)となった。 国別実績は、タイ924.7千枚(前年比114.7%)、ベトナム120.8千枚(同82.5%)、韓国24.7千枚(同100.0%)、カンボジア117.0千枚(同117.9%)、香港・フィリピン・台湾・ミャンマーは実績なし。</li> <li>○ 需給動向は中国の豚生産頭数拡大(原皮供給増)やベトナムのウェットブルー在庫が多いことから年明け出荷分のタンナー交渉は難航している。また、中国の電力不足による工場稼働率低下も相まってタンナーとの取引価格は今後大幅に下落する可能性が高い。</li> </ul>	<p>5.油脂価格(食用向け) 単位:円/kg</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>価格改定年月日</th> <th>牛脂</th> <th>豚脂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和2年9月1日</td> <td>95</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>令和2年11月1日</td> <td>95</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年2月1日</td> <td>90</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年4月1日</td> <td>85</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>令和3年10月1日</td> <td>105</td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table>	価格改定年月日	牛脂	豚脂	令和2年9月1日	95	85	令和2年11月1日	95	80	令和3年2月1日	90	80	令和3年4月1日	85	80	令和3年10月1日	105	100							
価格改定年月日	牛脂	豚脂																								
令和2年9月1日	95	85																								
令和2年11月1日	95	80																								
令和3年2月1日	90	80																								
令和3年4月1日	85	80																								
令和3年10月1日	105	100																								
レンダリング	<p>1.油脂等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 11月渡しの国産食用加工油脂向け豚脂は100円/kg(据置き)、牛脂は105円/kg(据置き)となった。食用動物油脂の用途拡大(=パーム油の高騰等による飼料用、工業用への流用)、外食回復による食用本来の需要拡大、世界的なバイオ燃料需要拡大(=輸出用)等の影響から12月以降で再び値上げとなる可能性が高い。</li> <li>○ 10月マレーシア産パーム油相場は、180円(前月+22円、前年+75円)で依然として高値推移している。9月生産量は前月比0.4%減少、月末在庫は174万トン(前月比7%減)となり、在庫量は事前予想の180万トンを割り込んだ。</li> <li>○ 11月の関東飼料用油脂は89円/kg(据置き)、工業用油脂は60円/kg(据置き)となった。</li> <li>○ 11月のUCオイル(ローリー)飼料用の関東標準価格は、78円～81円/kg辺り。</li> </ul>																									